

## II 事業所意識調査



## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

本市では、「西宮市男女共同参画プラン」を策定し、男女がいきいきと躍動する男女共同参画社会の実現をめざして、総合的な施策を進めてきた。

本調査は、施策の充実をより一層図るため、現行の計画を見直し、新たな男女共同参画プランを策定するにあたって、事業所における男女が共に働きやすい環境づくりへの取り組みや、職場における男女共同参画意識の実態を把握することを目的として実施した。

### (2) 調査期間

平成 29 (2017) 年 11 月 14 日 (火) ～12 月 4 日 (月)

### (3) 調査対象者

西宮市内の事業者 (従業員数 10 名以上の事業所) 2,000 件

### (4) 調査対象者の抽出方法

市内事業所データから無作為抽出

### (5) 調査方法

郵送による配布・回収

### (6) 調査項目

- ①事業所の概要について
- ②ワーク・ライフ・バランスについて
- ③育児や介護と仕事の両立への支援について
- ④女性の活躍推進について
- ⑤その他

## 2. 有効回答者の属性

### (1) 有効回答者数

配布数：2,000件

有効回答数：526件

有効回収率：26.3%

#### 【西宮市内事業所の業種別構成比・従業員規模別構成比】

本市における事業所の構成比は、業種別では「卸売業、小売業」が最も多く約3割を占めており、従業員規模別では「10～29人」が最も多く7割以上を占めている。

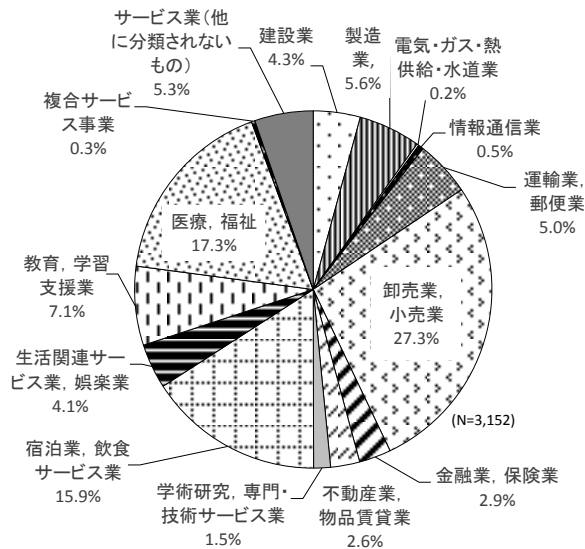


図1 業種別 事業所構成比

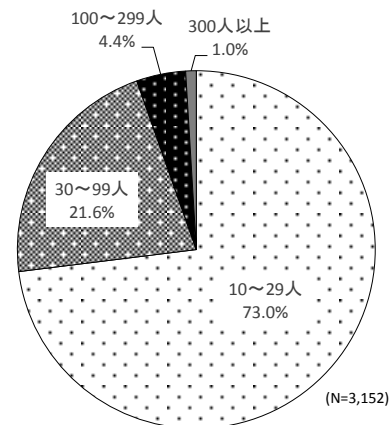


図2 従業員規模別の事業所構成比

#### 【各設問のN値（母集団数）について】

各設問のN値は以下の通り。

表3 各設問のN値

設問番号	N (母集団数)	備考
問1～問10、問12～問14	526件	全員 (有効回答数)
問11	505件	従業員300人以下の事業所

#### 【標本誤差】

本調査は標本調査のため、調査対象の一部を選定することによって起こる、母集団の値と調査結果との差「標本誤差」が生じている。なお、本調査の標本誤差は、約±4.4%以内の差である。

《標本誤差の算出式》

$$2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

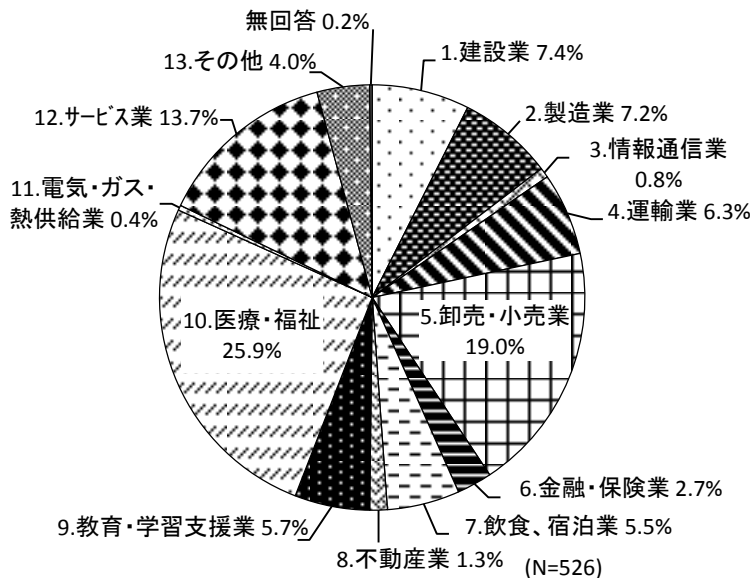
N = 母集団数  
n = 回答者数  
p = 回答の比率 (%)

参考：総務省統計局「標本調査とは？～調査のしくみと設計～」(http://www.stat.go.jp/teacher/c2hyohon.html)

(2) 有効回答者の属性

問1 業種

「10. 医療・福祉」が最も多く25.9%、次いで「5. 卸売・小売業」が19.0%であった。

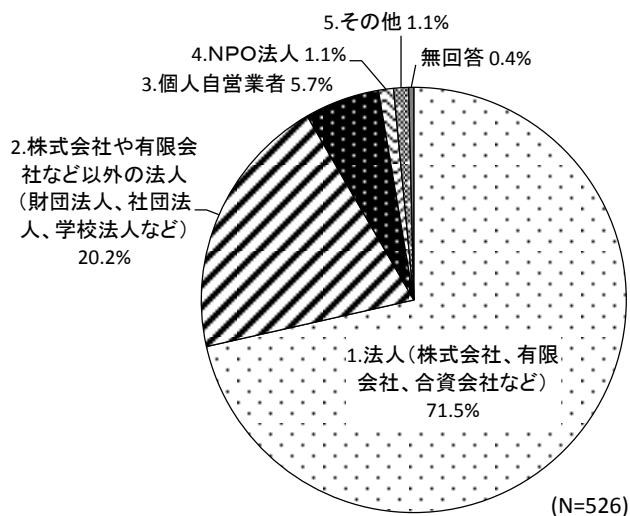


「13.その他」の回答

- ・法律業務
- ・測量業
- ・印刷業 等

問2 事業形態

「1. 法人（株式会社、有限会社、合資会社など）」が最も多く71.5%、次いで「2. 株式会社や有限会社など以外の法人（財団法人、社団法人、学校法人など）」が20.2%であった。



「5.その他」の回答

- ・協同組合
- ・フランチャイズ 等

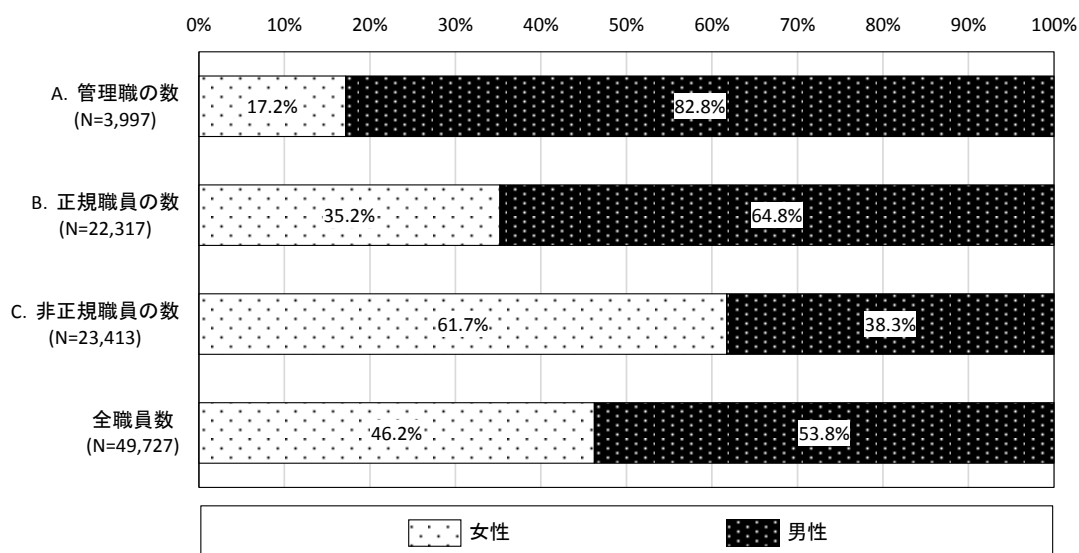
問3 従業員数・管理職の数

「A. 管理職の数」は、女性の割合が17.2%、男性の割合が82.8%であり、男性が多い。

「B. 正規職員の数」は、女性の割合が35.2%、男性の割合が64.8%であり、男性が多い。

「C. 非正規職員の数」は、女性の割合が61.7%、男性の割合が38.3%であり、女性が多い。

「全職員数」は、女性の割合が46.2%、男性の割合が53.8%であり、男性が多い。

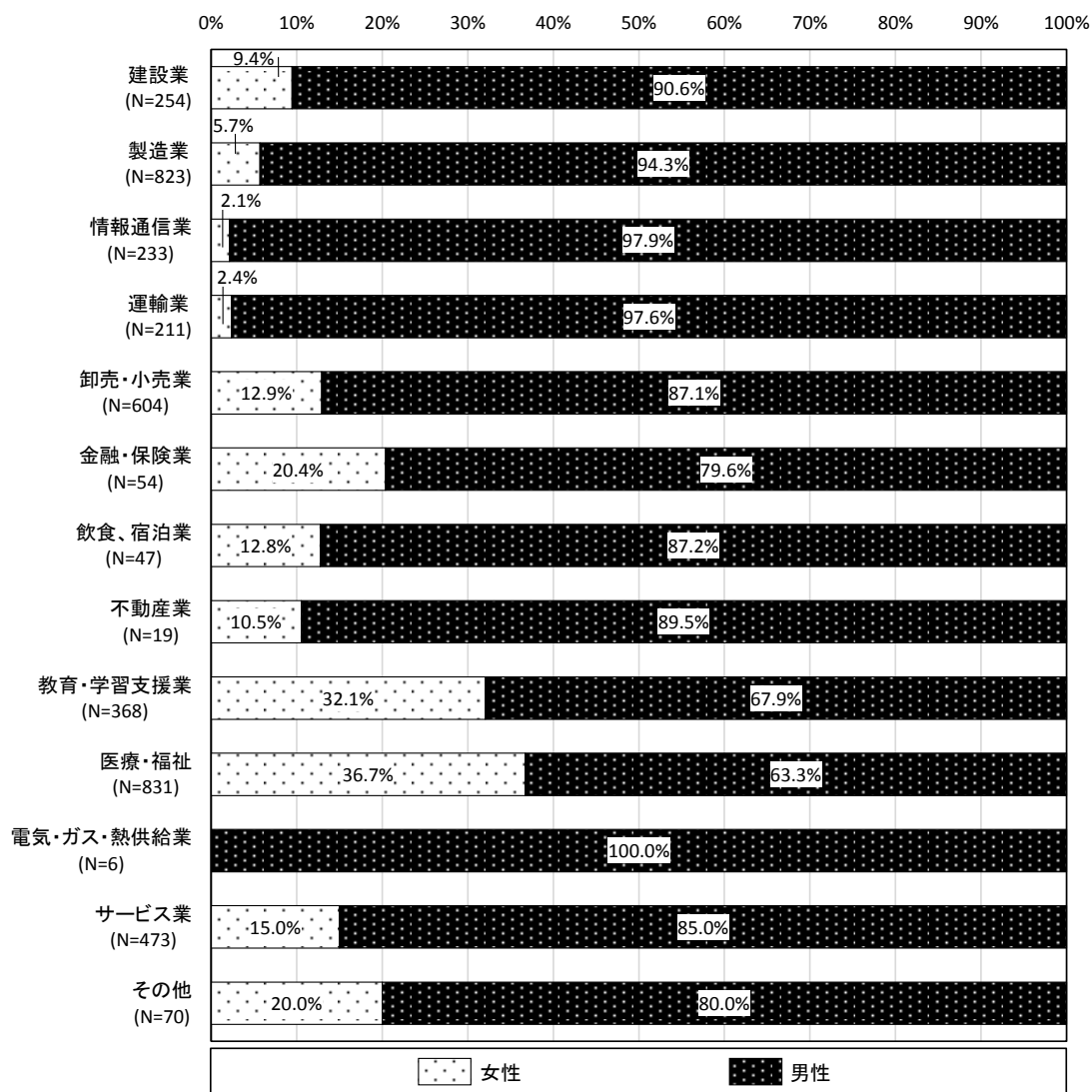


業種別

A. 管理職の数

いずれの業種も6割以上が男性の管理職となっている。

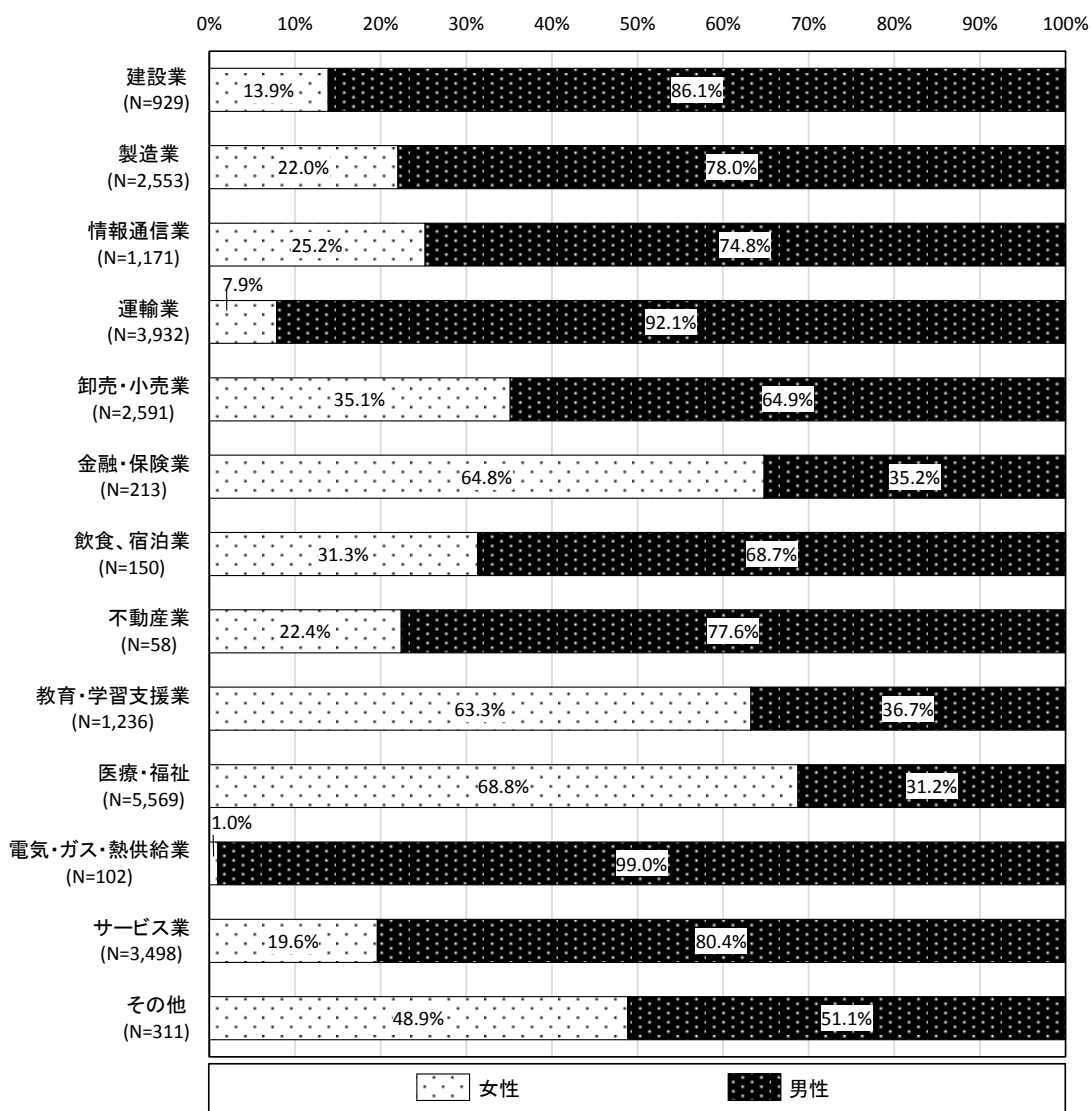
女性の管理職は、「医療・福祉」が最も多く36.7%、男性の管理職は、「電気・ガス・熱供給業」が最も多く100.0%であった。



B. 正規職員の数

「金融・保険業」、「教育・学習支援業」、「医療・福祉」は、女性の正規職員が半数以上を占める。一方、他の業種は、いずれも男性の正規職員が半数以上を占める。

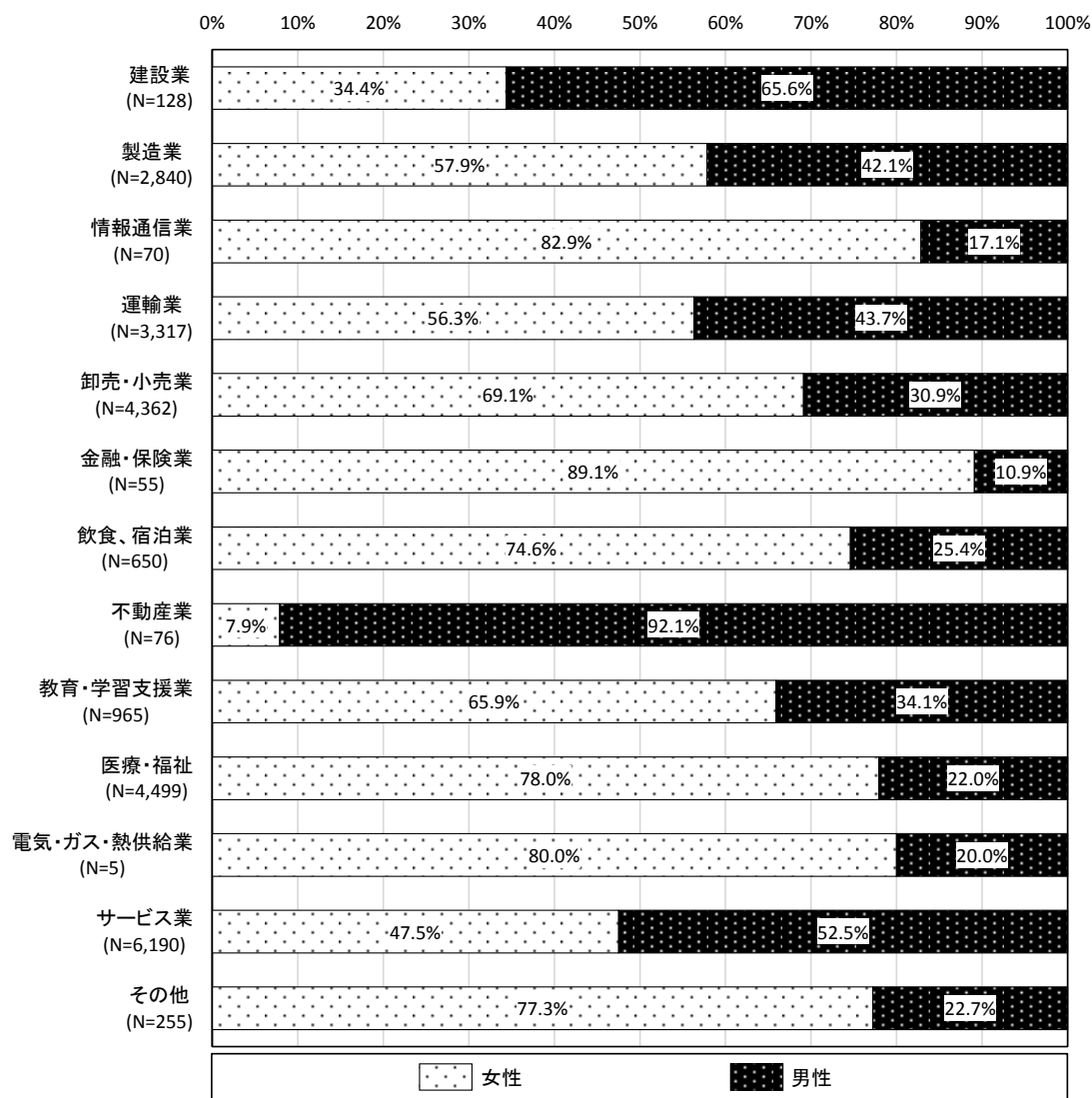
女性の正規職員は、「医療・福祉」が最も多く 68.8%、男性の正規職員は、「電気・ガス・熱供給業」が最も多く 99.0%であった。





C. 非正規職員の数

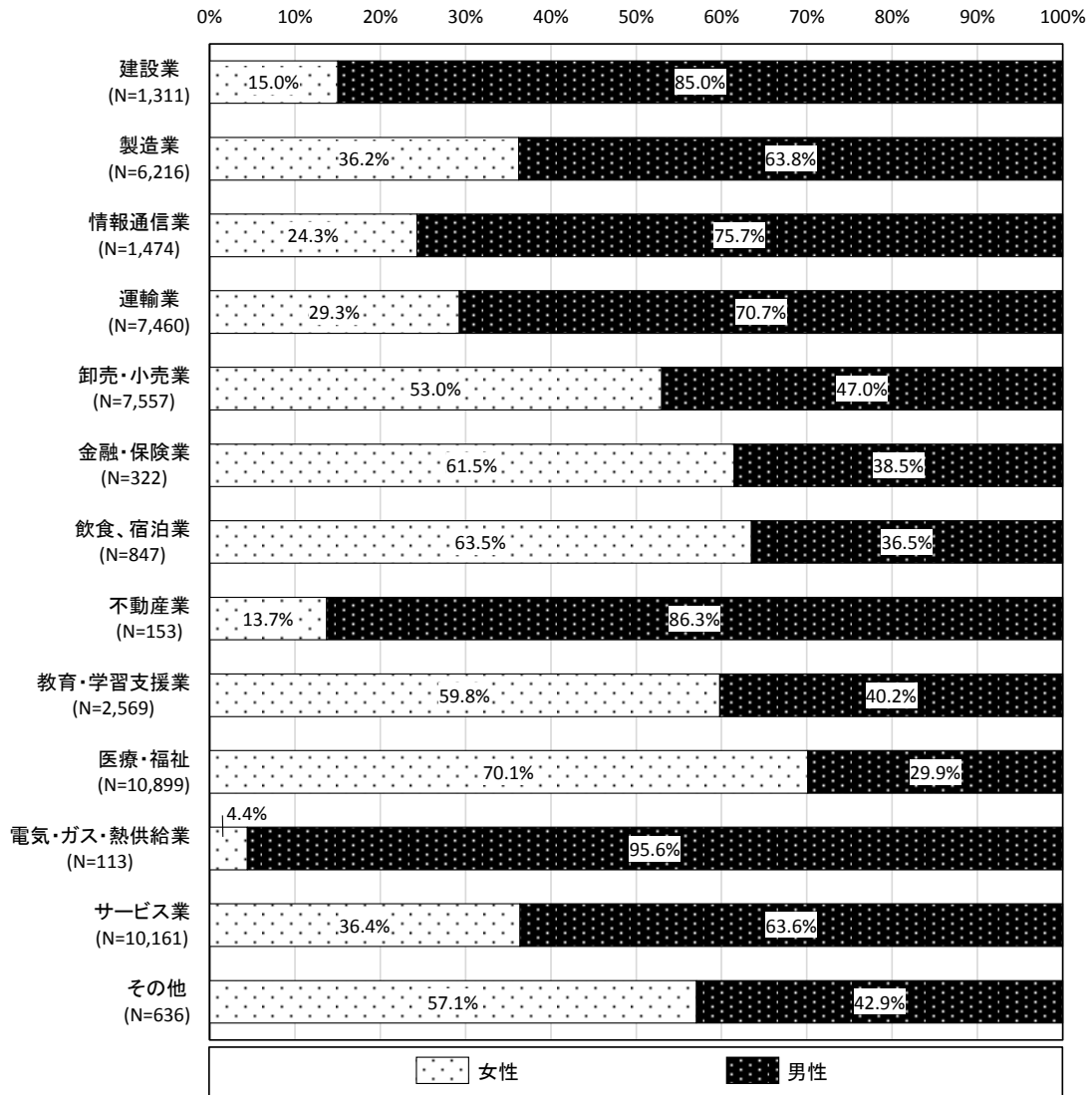
「建設業」、「不動産業」、「サービス業」を除いて、女性の非正規職員の数が半数以上を占める。  
 女性の非正規職員は、「金融・保険業」が最も多く 89.1%、男性の非正規職員は、「不動産業」が最も多く 92.1%であった。



2 有効回答者の属性

全職員の数

女性の職員は、「医療・福祉」が最も多く70.1%、男性の職員は、「電気・ガス・熱供給業」が最も多く95.6%であった。



2 有効回答者の属性